

# 東日本大震災救援ニュース

No.12  
2011年3月28日  
にじのネットワーク・対策本部  
にじのネットワーク

## 第3次医療支援隊、27日現地到着！

### 早々に、宮城医師を先頭に避難所で診察開始

#### <現地レポート①・石川看護師発>

27日、15時過ぎに、宮城県の坂総合病院に到着いたしました。本日は総勢150人強の支援団が来ているということです。3泊4日の支援がほとんどだそうです。

昨日から坂総合病院でも通常診療体制となり、トリアージも終了されています。トリアージについては12日間で述べ4,464人を実施したそうです。

水道・電気は復旧しており、支援者にもシャワーが1日15分使用可となっています。到着早々、宮城医師を先頭に避難所巡りです。

#### <現地レポート②・堀介護福祉士発>

### 避難所では、上気道炎が流行り、小児用の薬がまだまだ不足

本日、到着後にミーティングに入りグループ分けがありました。宮城医師は、多賀城文化センターへ避難所巡りに行かれました。

被災後、2週間が経過し、避難所のプライバシーの問題が顕著化していたり、また、避難所で徘徊をしている方が「薬を取りに行く」と言われたりと、介護保険が機能していない現状など、まだまだ多くの問題があると懸念されます。

阪上師長、堀は天真小学校へ避難所巡りに行きました。天真小学校は体育館、学生の教室を開放し被災者約800名が避難されています。保健室を診察室にして午前の支援部隊と引継ぎを行いました。避難所の学校は、上気道炎が流行っていました。小児用の薬、坐薬がまだまだ不足しています。

その中、印象的だったのは、夫とこれからの生活のこと口論となり、血圧が高くて診察に来られた女性の方でした。阪上師長が問診をして傾聴したところ、興奮され泣き出される場面もありました。

今後は医療支援だけでなく生活支援、そしてメンタルケアが大切になってくると感じました。

明日の支援場所の発表で今回のメンバーの配置に変更がある可能性があるかと坂総合病院の支援対策本部より連絡がありました。また明日報告させていただきます。

## JR三ノ宮駅周辺で街頭募金



パネルを見たり、ビラを受け取ったり、足を止め、募金活動に協力していただきました。

27日(日)、兵庫県民集会(メリケンパークで開催)の後、東日本大震災支援募金活動をJR三ノ宮駅周辺で行いました。

兵庫民医連、尼崎医療生協での医療支援の状況をパネルやビラで伝えながら、理事長、専務、社保委員会委員長を先頭に、街頭募金の訴えをしました。

あしなが基金のグループの募金活動をそばで行っていましたが、こちらにも多くの方が



## 第2次医療支援隊、26日帰任へ！

19日から26日までの8日間、坂総合病院にて医療支援に当たっていた第2陣が、26日（土）夜、無事帰任しました。被災地において医療支援活動で奮闘し、宮城県・坂総合病院を午前中に出発。医療生協の車を交代で運



転し、東京の全日本民医連事務局をめざしました。第3陣と全日本民医連事務局で交代を済ませました。予定通りの新幹線で新大阪に到着。専務、院長、事務長



はじめ、生協事務局や病院関係の職場から出迎えました。8日間という長い時間の医療支援。とてもご苦労が多かったと思います。大変おつかれさまでした。

## 先遣隊の向井さん、FM 生出演

尼崎のFM ラジオ放送局・FM あまがさき (FM aiai 82.0MHz) 「瓶太・奈緒子のおしゃべりワールド」にて、医療支援先遣隊の向井章雄さん（医療生協病院医事課）が、25日、生出演しました。番組では、医療支援隊がどのように現地へ入ったのか、現地の状況、自分たちが行った医療支援活動等について、パーソナリティのお二人からのインタビューに応じています。最後にリスナーに一言と「支援に入って貴重な体験をした。テレビなどでは時間が経つにつれて（\*災害が終息したようにも）戻ってしまう。でも、現地ではまだまだ支援が必要です。長期的な支援体制が必要」として、パーソナリティも「できることからやっていきましょう」と結んでいます。

FM あまがさきでの放送の様子は、インターネット動画「Twit Casting」にて再生して視聴することができます。

<http://movie.twitcasting.tv/fmaiai/movie/1258859>

## 支援募金・支援物資も着々と

26日（土）3月度定例理事会では、開会に先立ち、東日本大震災犠牲者への黙祷、船越理事長がこれまでの取り組みを話しました。理事会においても支援募金、支援物資についての取り組む状況や今後の支援体制のあり方を協議しました。大庄東支部、西園田支部、東尼崎地域での取り組みが各理事から発言も。「いろいろ支部運営では大変だけど、いざとなったらみんなすばやく対応している。医療生協の力を感じた」などの感想も出されました。また、現地では手に入りにくい、レトルト食品などを支援募金から購入し、被災地へ直接送るなども提案、了承されました。引き続き、支援募金、支援物資へのご協力をお願いいたします。

**支援募金、410万円を突破(3/26 現在)！**